

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい保健体育</h1>	2 東 書
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○基礎的・基本的な知識は本文で簡潔にまとめ、キーワードをゴシック体で示している。 ○巻末スキルブックには、保健分野の技能をはじめ、命や健康を守るために必要な 20 のスキルが豊富なイラストや写真とともにわかりやすく示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○1 見開きを 1 単位時間とし、「見つける」「学習課題」「課題の解決（発問・本文・資料・活用する）」「広げる」というそれぞれのステップを学習の流れに沿って配置されており、主体的で対話的で深い学びを通して、幅広い知識と教養を身につけ、健康の保持増進や豊かなスポーツライフを実現する資質・能力が育成されるように配慮されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭に「この教科書の使い方」「保健体育の学習方法」が掲載され、教科書の構成を理解し、保健体育の学習に主体的に取り組めるように配慮されている。また、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の 4 つのステップの流れで学ぶことができ、学習に主体的に取り組める工夫もされている。 ○各単元の「広げる」や章末の「日常生活に生かそう」には、学習したことを自他の生活に当てはめて考える活動が設けられ、学びへの意欲を喚起するように工夫されている。</p> <p><生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫> ○学習で身についた資質・能力を活用するよう、保健分野各単元の「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」を通して、現在・将来の生活・健康に関する課題に対して、科学的な思考と正しい判断のもとに適切に実践していくことができる工夫がされている。 ○様々な年齢の人たちが、様々な形でスポーツに関わり楽しむ姿が掲載されており、楽しさや喜びを味わう意欲が湧くように工夫されている。</p>	
資 料	<p>○単元の導入に、自らの内面を見つめる活動・データを読み取る活動・生徒の思い込みに揺さぶりをかける活動・自分の経験を基に自由考える活動と多様な活動を通して学習活動に迫り、学習しやすいように写真やイラストを大きく提示する工夫が見られる。 ○学習を深め広げる資料が口絵や章末資料に掲載する工夫が見られる。 ○学習したことがどのように関連しているのか、別ページや他教科での関連がどのようにあるのかの学習内容を示す工夫が見られる。</p>	
表記・表現	<p>○位置を固定した定型デザイン（左側：本文、右側：資料）となっており、視線移動の負担が軽く学習に集中しやすいものとなっている。 ○挿絵は学習事項を的確に表現し、キャラクターの言葉等で学習を補足する工夫があり、生徒にとって親しみやすいもの、学習する際の手助けとなっている。 ○キーワードやポイントにマークが見やすいもので示され、学習と関連するページを明示し、語句の解説欄を設けるなどの工夫が見られる。</p>	
総 括	<p>○基礎的・基本的な知識を本文で習得したのち、各章末の「学習のまとめ」で知識の習得状況を確認できるよう配慮されている。 ○課題解決のための発問が多数用意され、課題を合理的に解決しようと思し・判断する場を設け、その力を表現・活用する構成が各単元で設定されている。 ○すべての単元を 4 ステップでわかりやすく示し、その流れに沿って学習を進めることで主体的・対話的で深い学びを実践できるように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">中学校保健体育</h1>	4 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">大日本</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○I 時間の学習の流れを明確に示している。「学習のねらい」→「つかもう」→「課題を解決しよう」→「活用して深めよう」→「まとめよう」→「生活に生かそう」としている。資料を活用し、学習しやすくしている。 ○資料やイラストや写真等を使い、わかりやすく工夫している。 ○キーワードをあげることで、学んだ内容を整理するポイントとして、知識の習得とまとめに役立つように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「つかもう」「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」では、課題発見から解決そして活用するまでの活動により、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がされている。 ○「学びを活かそう」では、学んだことをもとに、更に考えを話し合うことや個々で考えることによって、思考力、判断力、表現力等を深める工夫がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近なことを取り上げることで、主体的な学びに繋げる工夫がされている。 ○資料をわかりやすく乗せることで、自分ごととして考えることができ学ぶ意欲を持つ工夫がされている。 <p><生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○トピックスやミニ知識があることで、自分の健康維持や増進に向けた考えを深める工夫がされている。 ○「学びを活かそう」では、自分の考えを実践する内容があり、生涯にわたって健康を維持するための資質能力を育成する工夫がされている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真などによって、現代的なテーマが示されているのでわかりやすい。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の発達段階に応じて、わかりやすく表現されている。 ○イラストや写真は学習意欲を高めたり、興味・関心を引き出す工夫がされている。 ○グラフや表は、生徒が視覚的に捉えやすいように工夫されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○各章において「この章で学習すること」が明確に示されており、ゴールを明確にすることによって学びやすくなっている。 ○知識の定着を目指して、キーワードで学習の振り返りをして章末で重要語句の再確認ができる。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">最新 中学校保健体育</p>	<p style="text-align: center;">50</p> <p style="text-align: center;">大修館</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○保健で新しく示されたストレス対処法と応急手当の技能について、実習のページを設け写真やイラストを参考に確実に実習できるように工夫されている。 ○各章末の「章のまとめ」では、知識・技能の確認問題で基礎・基本の習得ができるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学習項目の冒頭の「課題をつかむ」では、多様な導入活動を提示し、学習課題につながる気づきや思考を促すよう工夫されている。 ○各章、各学習項目をつかむ（章とびら、きょうの学習、課題をつかむ）→身につける・考える（本文／実習、資料、コラム）→まとめる・振り返る（学習のまとめ、章のまとめ）のシンプルな3ステップで構成されており、課題解決的な学習過程を通じて、思考力・判断力・表現力等を育成することができるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○章とびらでは、中学生の日常生活を中心に写真を随所に配置し、中学生が抱く疑問を掲げ、その章の学習課題を自分のこととして捉えられるよう工夫されている。 ○「学習のまとめ」では、その学習項目での学習を踏まえて自他の生活を見直したり、社会の在り方を考えたりする活動を設けて、学びを人生や社会に生かす力の育成ができるように工夫されている。 <p><生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育理論①では、特に運動が苦手な人でも楽しめるスポーツの例を掲載し、スポーツの多様な楽しみ方や関わり方について理解できるよう工夫されている。 ○口絵などで、国際的なスポーツ大会を通した国際交流の様子を紹介し、国際理解を進めこれからの生活について考える機会を与えられるよう工夫されている。 ○両分野に関連する内容を扱う場合には「関連マーク」や「体育の窓」「保健の窓」を設けて、関連を図った指導が充実できるよう工夫されている。 	
<p>資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本文をさらに詳しく学ぶことができるよう「ほり下げる」という項目が設けられている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の発達段階に配慮して文章を平易されており、学習に取り組みやすくなるように、教科書全体を通して理解しやすい表記・表現となっている。 ○生徒が支障なく学習できるようカラーユニバーサルデザインになっており、イラストなども親しみやすいもので、見やすい工夫がされている。 ○資料は罫線で囲まれており、本文とははっきり区別できるようになっており、見やすく読みやすい紙面レイアウトになっている。 	
<p>総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識・技能の習得のために明瞭かつ簡潔に本文が記述されており、重要語句は太字で示されている。本文を補足する適切な資料も豊富に掲載されている。 ○全ての学習項目で、1見開き1単位時間の構成が徹底されており、時間の見通しをもって指導できるよう分量も工夫されている。 ○学んだことを社会や生活に広げたり、深めたりできる「特集資料」を設けて、社会や生活との関わりの中で学んだことの意義を実感し、さらなる学びへの意欲を高められよう工夫されている。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">新・中学保健体育</p>	<p style="text-align: center;">224 学 研</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時間の最後に、「学びを生かす」を設けて、その単元で学んだ知識をまとめたり、深めたり、活用したりできるように工夫されている。 ○身につけるべき技能に「技能」マークが付いており、イラストや写真など工夫されている。 ○各章の最後の「章のまとめ」に章で学んだキーワードや振り返り、確認などの項目を設け、今後の生活に活用できよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ウォームアップ（課題の発見）」・「学習の課題」・「本文と資料」・「エクササイズ（課題の解決）」・「学びを生かす」を提示し、各時間の目標に応じた学習方法で、思考・判断・表現する活動が充実するよう工夫されている。 ○各章の扉で、学びたいことや学んだことを、文や絵、図などで記入できるスペースを設け、思考・判断・表現する活動が充実するように工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時間の紙面右下に、学習への取組を自己評価する「とりくみメーター」を設け、主体的に学習に取り組む態度を振り返ることができるように工夫されている。 ○各章の「各章のまとめ」で、「生活への活用」を設け、学びへの意欲を喚起するように工夫されている。 <p><生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○口絵などでスポーツと健康に関連するテーマを掲げ、保健分野と体育分野の関連を図った指導ができるように工夫されている。 ○健康・環境・安全防災・運動スポーツの写真を掲載し、多様な関わり合いを可視化できるように工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○体育編には、「コラム」を設け、学習した内容に関連した読み物資料により、学習を広げたり、深めたりできるような工夫が見られる。 ○学習した知識や情報を基に、考えたり、調べたり、話し合ったりする「エクササイズ」という場を設け、さらなる学びへの意欲を高める工夫が見られる。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書冒頭の口絵で、興味・関心を高めてから保健体育の学習を始められるようにしており、各時間の「学びを生かす」と章末の「探求しようよ！」で学習を広げたり、深めたりできるように工夫されている。 ○キャラクターが、随所で学習内容の確認や追発問、説明を語りかけることで、学習に役立つ情報を教えてくれる工夫が見られる。 ○本文や見出し、資料においてユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすいよう工夫されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○見通しを持って学習できるよう見開き2ページが基本構成となっており、基礎的・基本的な内容を本文で明瞭かつ簡潔に示している。 ○導入の発問で興味・関心を高め、課題に気づかせ、様々な方法で課題解決に向かい、学習成果を振り返る構成となり、主体的・対話的な学びが充実するように図られている。 ○様々な現代的な課題について写真やキーワード、コラムなどを掲載し、今後の人生や生活に生かせるように構成されている。 	